

経営比較分析表（令和5年度決算）

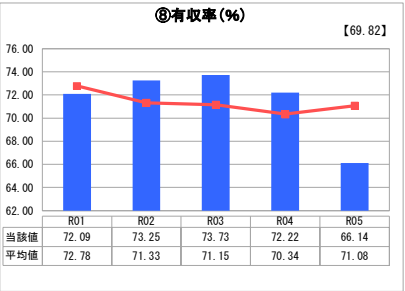
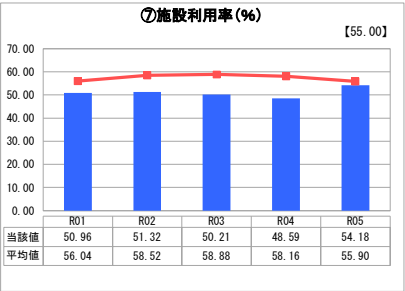
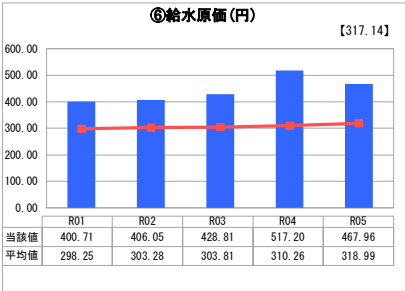
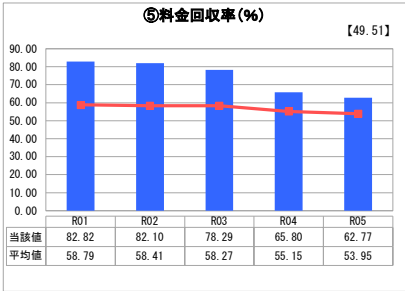
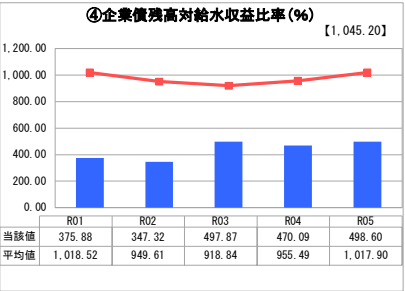
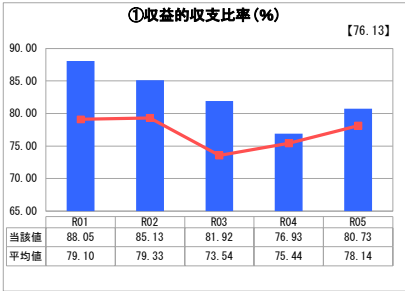
北海道 苫前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.11	5,900	

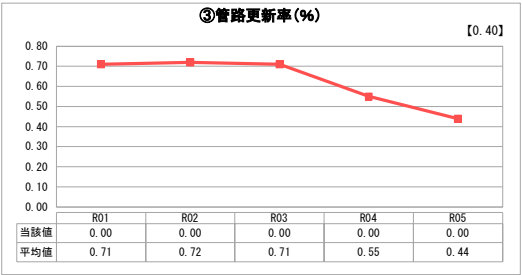
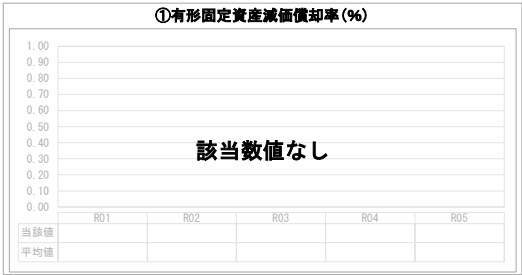
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,747	454.60	6.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,674	54.17	49.36

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町での収益的収支比率及び料金回収率については今年度、過去複数年度においても類似団体平均と比較すると上回っている。

しかし、人口減少による料金収入の減、物価高騰及び施設の更新事業に伴い年度以降の収益的収支比率、料金回収率は減少傾向であるため、今後も経費削減に努め、料金改定も検討しなくてはならない。

企業債残高対給水収益比率については、施設の更新事業の実施に伴い増加しているが平準化を図りながら行う。

有収率については、R2からは類似団体平均値よりも上回っているが、今年度は公営企業会計適用に伴う打ち切り決算により、今年度料金収入が一部次年度の収入となっていることから、昨年度より大きく低下している。その点を考慮しても国から目標設定されている95%には及ばないため、今後も漏水を減らし、水道の普及率を上げ有収率の改善に努める。

2. 老朽化の状況について

経営戦略により施設規模の適正化を図り、重要施設等、優先順位の高いものから更新を行うため、今後の事業は耐震化、機械設備及び電気設備の更新を行うため、管路の更新は数年行わない予定であるため管路更新率では類似団体平均値より大きく下回っている。

全体総括

現在一般会計繰入金に頼っている状況にある。人口の減少による料金収入の減少、施設等の更新による償還金の増加及び物価高騰に伴い、経営状況はより厳しい状態である。

令和6年度から公営企業会計適用となり、収支計画の見直しが必要となるため、新たな収支計画を基に、住民負担を考慮したうえで、料金改定を検討する。

また、水道未加入者の接続の向上に努め、経費削減については継続して行う。